

小涌谷線の強羅地内拡幅事業のほか、県道75号湯河原箱根仙石原線のすき草原歩道整備等につきましても、早期の完成に向け、引き続き事業協力してまいります。

〔住環境関連施策〕

検討を進めてまいりました街路灯のLED化につきましては、自治会や地域照明会が管理する観光街路灯のほか、町管理の防犯灯や道路照明などを加えた3千3百灯余りについて5年間のリース方式によりLED照明器具へと交換を進めてまいります。

未病を改善する取組の一環として仙石原公園に設置した健康遊具については、楽しみながら健康づくりができる運動プログラムの構築を進めてまいります。

〔生活環境関連施策〕

イノシシやシカなどの有害鳥獣対策につきましては、わなの設置個所を増やすとともに、わなが作動した際にメールで関係者に通知するシステムを新たに導入し、有害鳥獣捕獲の効率化を進めます。

また、近年、スズメバチの発生が多くなっていることから、駆除費用に対する補助制度を新たに創設し、町民の安全確保を図ってまいります。

沿道美化の促進につきましては、花いっぱい事業による沿道美化の推進を図ってまいります。

〔上下水道事業関連施策〕

上下水道事業につきましては、老朽化した配水管の改良工事を進めるほか、鷹ノ巣配水池や二ノ平配水池の滅菌設備の更新を行い、安全な水道水の安定供給に努めてまいります。

下水道事業につきましては、第2期の長寿命化計画に基づき、仙石原浄水センター内の電気設備改築、改修工事に着手するとともに、宮城野浄水センターの汚泥棟につきましては、耐震化や設備改修に向けた設計業務を進めてまいります。

また、宮城野サニパーク地内への管渠布設工事などにより接続率の向上に努めるほか、第3号公共下水道事業につきましても、箱根小田原幹線の整備を進めてまいります。

〔地域交通関連施策〕

交通事業者により整備が計画されている仙石原交差点周辺などにおいて、官民連携の手法や住民等が主体となるまちづくりの展開を進めるためのエリア・マネジメントについて、推進方策やスケジュール等の検討を進め、課題解決に向けて取り組んでまいります。

ピクトグラム表示を導入してまいります。

森林セラピー関連の取組につきましては、町民を対象としたセラピストの育成を行うとともに、箱根九頭龍の森セラピーロードの整備やイベントを実施します。

なお、本年6月に新しい法律が施行されます民泊への対応につきましても、町内において適正な運用が図られるように県と協力してまいります。

〔箱根ジオパーク関連施策〕

ジオミュージアムと関連資料館が共同して企画展を開催し、ジオという深みと奥行きのある視点から箱根を楽しめる取組を進めるとともに、箱根を語れる箱根を誇りに思える人材の育成を図り、引き続き箱根ジオパーク地域の持続可能な社会構築、地域の振興へとつなげてまいります。

〔産業振興関連施策〕

町の所有する箱根細工の製作用具と製品約1700点が、国登録有形民俗文化財として指定される見込みとなりました。

この文化財登録を記念して、郷土資料館において記念事業を行い、箱根物産の伝統の技を広く紹介するほか、木製品フェアの開催に対して財政的支援を行

〔4〕基本目標4「環境にやさしく、安全・安心なまちづくり」

〔循環型社会形成関連施策〕

ごみ処理関連施策につきましては、小田原市と下郡3町で構成するごみ処理広域化協議会において、広域化を見据えながら輸送方法や中継施設等の整備について基礎的な調査を実施し検討を進めてまいります。

なお、段階的に見直しを進めております事業系ごみ処理手数料につきましては、お認めいただいたとおりとさせていただきます。

〔自然環境・景観保全関連施策〕

仙石原すき草原につきましては、草原内歩行者通路をすき草原の景観にふさわしいものとするための整備方法について検討してまいります。

町有林や私有林については、県の交付金を活用した整備を引き続き進めてまいります。

景観関連施策につきましては、芦ノ湖における貸しポート事業者を対象とした不要ポートの処分費に対する助成を引き続き実施するほか、景観保全活動を推進してまいります。

い、箱根細工の振興に努めてまいります。

また昨年、古典芸能の認知拡大や箱根芸妓ブランドの向上を目的に開始しました古典芸能体験クーポンにつきましては、引き続きクーポンの発行を湯本芸能組合とともにを行い、これらの伝統文化を後世へ引き継いでまいります。



〔6〕基本目標6「行政の効率的経営と官民協働体制の強化」

〔協働のまちづくりの推進関連施策〕

コミュニティ推進事業として箱根地域自治会連合会や箱根町老人クラブ連合会の活動に必要な備品類の整備を進めてまいります。

また、芦之湯の更なる魅力を高める「芦刈の里」づくりにつきましても、弁財天前の湿原周辺整備工事や東光庵屋根葺替え

〔防災対策関連施策〕

防災行政無線の整備につきましては、デジタル波への切り替え工事を3か年かけて順次実施していくとともに、Jアラートにつきましても、新型受信機への切り替えを行います。

また、火山活動の活発化に備えた観測設備の維持管理や、噴火を想定した実践的な訓練の実施などにより、平成27年の経験を活かした万全な対策を引き続き講じてまいります。

地震等災害対策につきましては、旧耐震基準により建築された木造住宅につきましては、新たに、耐震診断に係る経費については全額補助を行うこととし、一層の耐震化を図ってまいります。

さらに、自主防災組織等を対象に防災活動の中心的な役割を担う人材を育成することとし、民間資格である「防災士」とし



て養成する取組を新たに進め、「防災力の強化」につなげてまいります。

〔消防・救急関連施策〕  
本署の消防ポンプ自動車と資機材搬送車、第1分団消防ポンプ自動車、第7分団小型動力ポンプ付積載車について更新を行うなど、不測の事態に備えた資機材や装備の充実を図ってまいります。

消防団につきましては、女性団員が初めて仙石原地域の消防団第8分団に誕生する見通しとなり、幅広く活躍していただくことを期待しております。また、神奈川県消防操法大会に下郡代表として出場する箱根地域の消防団第11分団が実施する訓練等に対して支援をしてまいります。

老朽化が進む湯本分署の建替えにつきましては、2020年度の供用開始を目指して基本、実施設計を行ってまいります。

〔5〕基本目標5「癒しと文化を提供する観光産業づくり」

〔観光関連施策〕

東京ビッグサイトで開催されるツーリズムEXPOジャパンへの参加を継続するほか、ハイキングコース案内板を改修し、外国人観光客にも分かりやすい

のほか、国民保養温泉地として健康増進温泉利用プログラム構築など、芦之湯地区の活性化や環境整備に尽力してまいります。

〔計画的な財政運営関連施策〕  
申告による課税が主となっている償却資産については、課税に関する取組を強化し、公平かつ適正な固定資産税の賦課に努めます。

公共施設につきましては、旧宮城野保育園やその周辺施設の解体工事を実施するほか、民間活力の活用による整備手法などについて調査研究を進めてまいります。

広域行政のうち小田原市斎場の建替えにつきましては、2019年度の供用開始に向け、2市5町により協力して進めてまいります。

【むすび】

昨年12月、ユネスコ世界文化遺産に関する諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）の国内委員会が、「日本の20世紀遺産20選」を選定し、町からも、福住旅館や富士屋ホテルなどの木造旅館・ホテルが、「箱根の大規模木造宿泊施設群」として選ばれました。

国道一号、箱根登山鉄道などを含めた広い地域が文化遺産の

「箱根細工の製作用具及び製品」が国登録有形民俗文化財に！

上記 施政方針にあるとおり3月8日に、本町が所有する「箱根細工の製作用具及び製品」1677点が、国登録有形民俗文化財に登録されました。

これらの資料は、これまで箱根細工振興のために本町が優秀な作品を買い上げてきたものに加え、本町を代表する地場産業の歴史や技法を後世に伝えるため、郷土資料館が地元の皆さまからの寄贈などにより収集してきたものです。

ロクロを用いる挽物細工や、寄木、象嵌などが施された指物細工など、箱根細工のさまざまな技法やそれらの製品がほぼ系統的に含まれていて、箱根細工の歴史や時代性、地域性、技術的特色を有する資料群と認めら

れたことから、今回の登録となったものです。

国登録有形民俗文化財は、平成16年度に創設された制度で、これまで全国で42件が登録されています。今回の箱根細工製作用具及び製品の登録はこれに続くもので、神奈川県内では初となります。

なお、登録された資料群の一部は、郷土資料館と箱根観光物産館に展示してありますので、ぜひご覧ください。

これにより、箱根町内の登録文化財は、登録有形文化財（建造物）21箇所（41件）、登録記念物（名勝地関係）3件、登録有形民俗文化財1件となります。

問合せ 教育委員会生涯学習課  
☎8517601